

祈りの像

[地図番号60]

建立年月日

1960（昭和35年）8月15日

建立者

平和祈念慰霊国民大
祭実行委員会

設計・制作者

よこえよしずみ
横江嘉澄（彫刻家）

形状

ブロンズ製（像部分）

台座に若い夫婦が子供を抱いて立つ姿。

台座中央には「祈り」の文字が彫られている。



目的 第二次世界大戦を始め、幾多の困難に際して国に殉じた犠牲者の慰霊と平和への祈りを込めて建てられた。

特記事項

1 慰霊対象

被爆者、軍人軍属、官公吏、警察官、警防団員、動員教師、動員学徒、派遣看護婦、助産婦、抑留同胞死没者、戦犯処刑者、殉死者、自決者、在外同胞非業死没者、其他一般戦争犠牲者

2 大木惇夫 詩碑（像右下に設置）

「平和を祈り 御霊を鎮めん 大木惇夫

山河に歎きはみちて 叫ぶ聲あり 戦ひは げに 人類の恥辱ぞと
ああ 奮ひ起ち挙り立て 心つなぎて つつましく
世界の平和 祈らばや やすらぎの日をもたらして
国に殉ぜしもろ人の み霊をこそは鎮めまし み霊よ 地下に哭くなかれ

青空の光をうけて 闇を絶たずや
戦ひは げに 人類の愚劣なり
ああ 奮い起ち挙り立て 呼べば応へて たくましく
世界の平和 祈らばや やすらぎの日をもたらして
国に殉ぜしもろ人の み霊をこそは鎮めまし
み霊よ 地下に哭くなかれ

夕星のさとしはありて こだま地にみつ
戦ひは げに 人類の自滅ぞと
ああ 奮い起ち挙り立て まこと尽して 美はしく
世界の平和 祈らばや やすらぎの日をもたらして
国に殉ぜしもろ人の み霊をこそは鎮めまし
み霊よ 地下に哭くなかれ」

詩には曲が付けられ「みたまよ地下に哭くなかれ」として合唱曲や舞踊も作られました。